

ダイワ先進国リートα

為替ヘッジあり（毎月分配型）

為替ヘッジなし（毎月分配型）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約5年間（2012年6月27日～2017年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」（以下「リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－グローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）」（以下「リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
運用方法	為替ヘッジあり （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
	為替ヘッジなし （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

運用報告書（全体版）

第42期（決算日 2016年1月13日）

第43期（決算日 2016年2月15日）

第44期（決算日 2016年3月14日）

第45期（決算日 2016年4月13日）

第46期（決算日 2016年5月13日）

第47期（決算日 2016年6月13日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型）」は、このたび、第47期の決算を行ないました。

ここに、第42期～第47期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5733>

<5734>

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

★ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P先進国リート指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 資産比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
18期末(2014年1月14日)	円 9,121	円 80	% 3.5	11,909	% 4.1	% 0.0	% 99.0	百万円 27,265
19期末(2014年2月13日)	9,172	80	1.4	12,298	3.3	0.0	99.4	26,015
20期末(2014年3月13日)	9,193	80	1.1	12,529	1.9	0.0	99.1	24,476
21期末(2014年4月14日)	9,172	80	0.6	12,621	0.7	0.0	98.9	23,228
22期末(2014年5月13日)	9,328	80	2.6	13,282	5.2	0.0	98.9	22,694
23期末(2014年6月13日)	9,279	80	0.3	13,406	0.9	0.0	99.0	21,682
24期末(2014年7月14日)	9,247	80	0.5	13,652	1.8	0.0	99.0	21,006
25期末(2014年8月13日)	9,161	80	△0.1	13,659	0.1	0.0	99.1	20,268
26期末(2014年9月16日)	9,052	80	△0.3	13,512	△ 1.1	0.0	99.0	19,699
27期末(2014年10月14日)	8,865	80	△1.2	13,471	△ 0.3	0.0	98.9	19,031
28期末(2014年11月13日)	9,094	80	3.5	14,369	6.7	0.0	99.3	19,209
29期末(2014年12月15日)	9,056	80	0.5	14,747	2.6	0.0	98.9	18,591
30期末(2015年1月13日)	9,102	80	1.4	15,736	6.7	0.0	99.2	18,400
31期末(2015年2月13日)	9,047	80	0.3	15,969	1.5	0.0	99.2	18,093
32期末(2015年3月13日)	8,774	80	△2.1	15,496	△ 3.0	0.0	98.9	17,341
33期末(2015年4月13日)	8,800	80	1.2	15,833	2.2	0.0	98.9	17,084
34期末(2015年5月13日)	8,388	80	△3.8	15,206	△ 4.0	0.0	98.8	16,180
35期末(2015年6月15日)	8,159	80	△1.8	14,898	△ 2.0	0.0	99.0	15,576
36期末(2015年7月13日)	8,115	80	0.4	14,941	0.3	0.0	99.3	15,149
37期末(2015年8月13日)	8,114	80	1.0	15,266	2.2	0.0	99.0	14,844
38期末(2015年9月14日)	7,681	80	△4.4	14,294	△ 6.4	0.0	99.0	13,785
39期末(2015年10月13日)	7,954	80	4.6	15,319	7.2	0.0	99.3	13,922
40期末(2015年11月13日)	7,816	80	△0.7	15,046	△ 1.8	0.0	99.0	13,391
41期末(2015年12月14日)	7,753	80	0.2	15,064	0.1	0.0	99.2	12,992
42期末(2016年1月13日)	7,693	80	0.3	15,057	△ 0.0	0.0	99.0	12,722
43期末(2016年2月15日)	7,395	80	△2.8	14,350	△ 4.7	0.0	98.9	11,904
44期末(2016年3月14日)	7,790	80	6.4	15,893	10.8	0.0	99.0	12,333
45期末(2016年4月13日)	7,846	80	1.7	16,434	3.4	0.0	98.8	12,147
46期末(2016年5月13日)	7,839	80	0.9	16,715	1.7	0.0	99.3	11,836
47期末(2016年6月13日)	7,784	80	0.3	16,683	△ 0.2	0.0	99.3	11,264

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国リート指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国リート指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

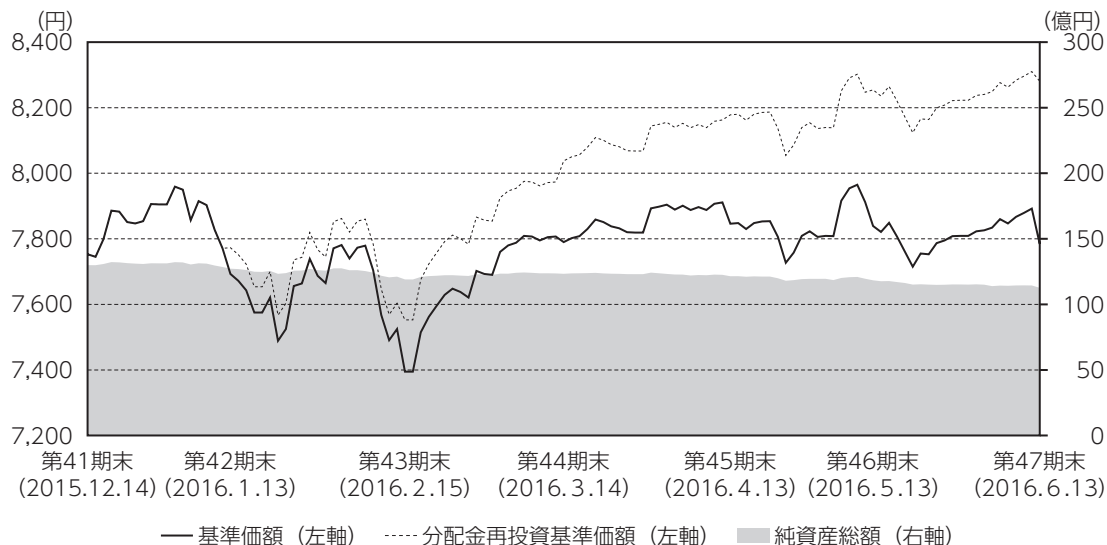
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第42期首：7,753円

第47期末：7,784円 (既払分配金480円)

騰落率：6.8% (分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱーグローバル・リートα・ファンド(円ヘッジクラス)(以下「リートα・ファンド(円ヘッジクラス)」といいます。)の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド(円ヘッジクラス)については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことが寄与し、上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国リート指数 (現地通貨建て)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第42期	(期首) 2015年12月14日	円	%		%	%	%
	12月末	7,753	—	15,064	—	0.0	99.2
	(期末) 2016年 1 月13日	7,959	2.7	15,759	4.6	0.0	97.6
第43期	(期首) 2016年 1 月13日	7,773	0.3	15,057	△ 0.0	0.0	99.0
	1 月末	7,693	—	15,057	—	0.0	99.0
	(期末) 2016年 2 月15日	7,665	△0.4	14,851	△ 1.4	0.0	99.9
第44期	(期首) 2016年 2 月15日	7,475	△2.8	14,350	△ 4.7	0.0	98.9
	2 月末	7,395	—	14,350	—	0.0	98.9
	(期末) 2016年 3 月14日	7,693	4.0	15,236	6.2	0.0	97.8
第45期	(期首) 2016年 3 月14日	7,870	6.4	15,893	10.8	0.0	99.0
	3 月末	7,790	—	15,893	—	0.0	99.0
	(期末) 2016年 4 月13日	7,898	1.4	16,368	3.0	0.0	99.0
第46期	(期首) 2016年 4 月13日	7,926	1.7	16,434	3.4	0.0	98.8
	4 月末	7,846	—	16,434	—	0.0	98.8
	(期末) 2016年 5 月13日	7,806	△0.5	16,403	△ 0.2	0.0	98.7
第47期	(期首) 2016年 5 月13日	7,919	0.9	16,715	1.7	0.0	99.3
	5 月末	7,839	—	16,715	—	0.0	99.3
	(期末) 2016年 6 月13日	7,809	△0.4	16,570	△ 0.9	0.0	99.7
		7,864	0.3	16,683	△ 0.2	0.0	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。当作成期間の前半は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げや原油を中心とするコモディティ価格の下落、中国の軟調な経済指標などさまざまなマイナス要因が重なり下落基調で推移しましたが、各国中央銀行の低金利政策の維持や日銀のマイナス金利導入が追い風となり反発しました。その後、中国の経済指標の改善や原油価格の反発などを背景に投資家心理が好転し、さらに利上げを控えた米国経済の底堅さが安心材料となり、上昇しました。国別の現地通貨建て騰落率を見ると、カナダ（19.4%）やオーストラリア（17.8%）、日本（11.9%）が大きく上昇しました。一方で、英国（△1.2%）やオランダ（△0.6%）が相対的に振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、ヘルスケアや産業施設のパフォーマンスが相対的に良好だった一方で、ホテル／リゾートや住宅などが低調でした。

○短期金利市況

日本では、日銀がマイナス金利の導入を決定するなど量的・質的金融緩和を継続する中、短期金利は低位で推移しました。一方、F R Bは政策金利の誘導目標レンジを0.25～0.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは、賃料や稼働率などの改善を通して中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏では緩和的な金融政策が継続されることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や世界経済の緩やかな成長等を勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

○リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、景気敏感セクターであるオフィスはおおむねアンダーウエートを維持し、産業施設のポジションを若干増やしました。一方で、ディフェンシブ・セクターでは、商業施設やヘルスケアなどについておおむねオーバーウエートを維持しました。国別で見ると、オーストラリア、オランダ、米国をオーバーウエートで推移させましたが、英国、カナダ、日本、香港はおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。リートポートフォリオに対するオプションポジションの比率であるカバー率は第42期首は95.2%、第47期末は83.2%でした。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

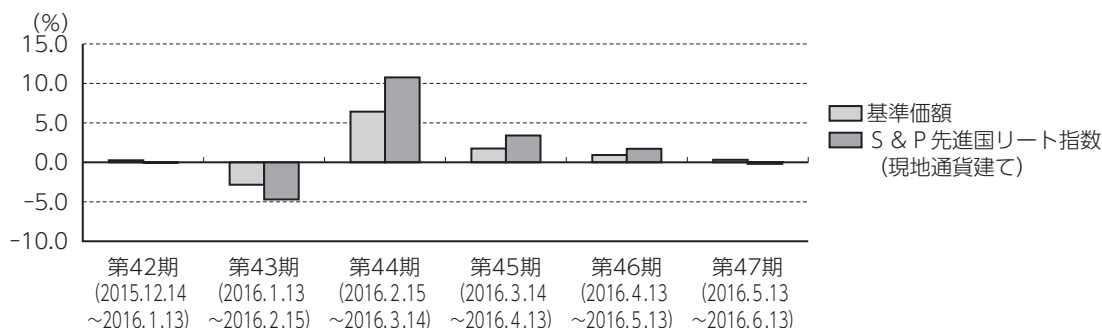
○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第42期から第47期の1万口当り分配金(税込み)はそれぞれ80円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年12月15日 ~2016年1月13日	2016年1月14日 ~2016年2月15日	2016年2月16日 ~2016年3月14日	2016年3月15日 ~2016年4月13日	2016年4月14日 ~2016年5月13日	2016年5月14日 ~2016年6月13日
当期分配金(税込み) (円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率 (%)	1.03	1.07	1.02	1.01	1.01	1.02
当期の収益 (円)	80	80	80	80	78	80
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	1	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,387	1,389	1,401	1,412	1,411	1,415

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	103.46円	82.18円	91.14円	90.54円	78.90円	83.47円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	516.26	518.07	524.30	531.65	538.16	545.50
(d) 分配準備積立金	847.62	869.31	865.72	870.05	874.43	866.18
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,467.36	1,469.57	1,481.17	1,492.25	1,491.50	1,495.16
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,387.36	1,389.57	1,401.17	1,412.25	1,411.50	1,415.16

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは賃料や稼働率などの改善を通して、中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏ではさらなる量的金融緩和政策が進められることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や、英国のEU（欧州連合）離脱懸念による影響などを勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	(2015.12.15～2016.6.13)		
	金 額	比 率	
信託報酬	51円	0.660%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,784円です。
(投信会社)	(17)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(33)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0.664	

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券 (マザーファンドを除く。) が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年12月15日から2016年6月13日まで)

決算期	第 42 期 ~ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	13,525.972	908,200	38,542.167	2,582,209

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年12月15日から2016年6月13日まで)

第 42 期				~	第 47 期			
買 付		売 付		買 付		売 付		
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
				GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	38,542.167	2,582,209	66	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第42期~第47期) 中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年12月15日から2016年6月13日まで)

区 分	第 42 期			第 47 期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
公社債	百万円 55,442	百万円 210	% 0.4	百万円 2,822	百万円 -	% -
コール・ローン	1,873,894	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間中 (第42期~第47期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 47 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	165,851.683	11,184,705	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 399	千口 399	千円 400

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年6月13日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 11,184,705	% 97.5
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	400	0.0
コール・ローン等、その他	285,462	2.5
投資信託財産総額	11,470,569	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年1月13日)、(2016年2月15日)、(2016年3月14日)、(2016年4月13日)、(2016年5月13日)、(2016年6月13日)現在

項 目	第 42 期 末	第 43 期 末	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末
(A) 資産	12,907,619,412円	12,051,907,122円	12,501,101,684円	12,326,227,336円	12,056,374,399円	11,470,569,355円
コール・ローン等	308,453,355	277,039,493	294,083,432	321,231,240	308,472,217	285,462,830
投資信託受益証券(評価額)	12,598,765,298	11,774,466,910	12,206,617,533	12,004,595,377	11,747,501,463	11,184,705,846
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	400,759	400,719	400,719	400,719	400,719	400,679
(B) 負債	184,948,613	147,267,283	167,831,447	178,593,231	220,169,342	205,577,333
未払収益分配金	132,311,133	128,789,366	126,659,783	123,858,692	120,798,223	115,780,931
未払解約金	38,275,357	3,350,647	28,453,079	40,947,374	85,873,400	76,277,482
未払信託報酬	14,275,095	14,949,107	12,464,434	13,451,011	13,081,116	13,022,924
その他未払費用	87,028	178,163	254,151	336,154	416,603	495,996
(C) 純資産総額(A-B)	12,722,670,799	11,904,639,839	12,333,270,237	12,147,634,105	11,836,205,057	11,264,992,022
元本	16,538,891,733	16,098,670,864	15,832,472,915	15,482,336,558	15,099,777,891	14,472,616,394
次期繰越損益金	△ 3,816,220,934	△ 4,194,031,025	△ 3,499,202,678	△ 3,334,702,453	△ 3,263,572,834	△ 3,207,624,372
(D) 受益権総口数	16,538,891,733□	16,098,670,864□	15,832,472,915□	15,482,336,558□	15,099,777,891□	14,472,616,394□
1万口当り基準価額(C/D)	7,693円	7,395円	7,790円	7,846円	7,839円	7,784円

*第41期末における元本額は16,758,852,743円、当作成期間(第42期~第47期)中における追加設定元本額は516,259,077円、同解約元本額は2,802,495,426円です。

*第47期末の計算口数当りの純資産額は7,784円です。

*第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,207,624,372円です。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

■ 損益の状況

第42期 自2015年12月15日 至2016年1月13日 第45期 自2016年3月15日 至2016年4月13日
 第43期 自2016年1月14日 至2016年2月15日 第46期 自2016年4月14日 至2016年5月13日
 第44期 自2016年2月16日 至2016年3月14日 第47期 自2016年5月14日 至2016年6月13日

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(A) 配当等収益	185,488,952円	147,345,019円	146,724,957円	149,223,556円	132,310,580円	133,911,889円
受取配当金	185,481,708	147,337,154	146,724,366	149,223,556	132,317,948	133,921,443
受取利息	7,244	7,865	591	-	5	73
支払利息	-	-	-	-	△ 7,373	△ 9,627
(B) 有価証券売買損益	△ 138,617,737	△ 482,913,333	614,872,135	74,356,678	△ 9,870,836	△ 84,314,873
売買益	2,128,602	1,879,294	622,525,093	74,885,400	1,945,474	5,059,842
売買損	△ 140,746,339	△ 484,792,627	△ 7,652,958	△ 528,722	△ 11,816,310	△ 89,374,715
(C) 信託報酬等	△ 14,362,123	△ 15,040,242	△ 12,540,422	△ 13,533,014	△ 13,161,565	△ 13,102,317
(D) 当期損益(A+B+C)	32,509,092	△ 350,608,556	749,056,670	210,047,220	109,278,179	36,494,699
(E) 前期繰越損益金	△3,779,571,364	△3,768,403,350	△4,149,870,192	△3,422,631,098	△3,231,204,848	△3,082,598,602
(F) 追加信託差損益金	63,152,471	53,770,247	28,270,627	1,740,117	△ 20,847,942	△ 45,739,538
(配当等相当額)	(853,850,434)	(834,037,809)	(830,099,220)	(823,126,839)	(812,618,592)	(789,485,733)
(売買損益相当額)	(△ 790,697,963)	(△ 780,267,562)	(△ 801,828,593)	(△ 821,386,722)	(△ 833,466,534)	(△ 835,225,271)
(G) 合計(D+E+F)	△3,683,909,801	△4,065,241,659	△3,372,542,895	△3,210,843,761	△3,142,774,611	△3,091,843,441
(H) 収益分配金	△ 132,311,133	△ 128,789,366	△ 126,659,783	△ 123,858,692	△ 120,798,223	△ 115,780,931
次期繰越損益金(G+H)	△3,816,220,934	△4,194,031,025	△3,499,202,678	△3,334,702,453	△3,263,572,834	△3,207,624,372
追加信託差損益金	63,152,471	53,770,247	28,270,627	1,740,117	△ 20,847,942	△ 45,739,538
(配当等相当額)	(853,850,434)	(834,037,809)	(830,099,220)	(823,126,839)	(812,618,592)	(789,485,733)
(売買損益相当額)	(△ 790,697,963)	(△ 780,267,562)	(△ 801,828,593)	(△ 821,386,722)	(△ 833,466,534)	(△ 835,225,271)
分配準備積立金	1,440,697,158	1,403,001,212	1,388,304,307	1,363,374,587	1,318,721,946	1,258,631,864
繰越損益金	△5,320,070,563	△5,650,802,484	△4,915,777,612	△4,699,817,157	△4,561,446,838	△4,420,516,698

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(a) 経費控除後の配当等収益	171,126,830円	132,304,775円	144,308,417円	140,191,622円	119,149,000円	120,809,555円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	853,850,434	834,037,809	830,099,220	823,126,839	812,618,592	789,485,733
(d) 分配準備積立金	1,401,881,461	1,399,485,803	1,370,655,673	1,347,041,657	1,320,371,169	1,253,603,240
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	2,426,858,725	2,365,828,387	2,345,063,310	2,310,360,118	2,252,138,761	2,163,898,528
(f) 分配金	132,311,133	128,789,366	126,659,783	123,858,692	120,798,223	115,780,931
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	2,294,547,592	2,237,039,021	2,218,403,527	2,186,501,426	2,131,340,538	2,048,117,597
(h) 受益権総口数	16,538,891,733口	16,098,670,864口	15,832,472,915口	15,482,336,558口	15,099,777,891口	14,472,616,394口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
1 万 口 当 り 分 配 金	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(7,693円)	(7,395円)	(7,790円)	(7,846円)	(7,839円)	(7,784円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

★ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国リート指数 (円建て)		公社債比率	投資信託 資産比率	純資産額		
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰				落 率	中 率
18期末(2014年1月14日)	円 11,685		円 90		% 4.5	15,172	% 4.4	0.0	98.2	百万円 9,383
19期末(2014年2月13日)	11,613		90		0.2	15,550	2.5	0.0	99.1	9,391
20期末(2014年3月13日)	11,688		90		1.4	15,881	2.1	0.0	99.2	9,042
21期末(2014年4月14日)	11,632		90		0.3	15,928	0.3	0.0	98.9	8,664
22期末(2014年5月13日)	11,899		90		3.1	16,825	5.6	0.0	98.9	8,533
23期末(2014年6月13日)	11,825		90		0.1	16,931	0.6	0.0	98.9	8,095
24期末(2014年7月14日)	11,770		90		0.3	17,185	1.5	0.0	99.1	7,879
25期末(2014年8月13日)	11,730		90		0.4	17,258	0.4	0.0	98.9	7,321
26期末(2014年9月16日)	12,073		90		3.7	17,720	2.7	0.0	98.8	7,230
27期末(2014年10月14日)	11,801		150		△1.0	17,593	△ 0.7	0.0	99.2	6,907
28期末(2014年11月13日)	12,810		150		9.8	19,968	13.5	0.0	98.7	7,490
29期末(2014年12月15日)	13,009		150		2.7	20,922	4.8	0.0	97.9	7,718
30期末(2015年1月13日)	13,012		150		1.2	22,180	6.0	0.0	98.9	7,542
31期末(2015年2月13日)	12,844		150		△0.1	22,409	1.0	0.0	99.6	7,777
32期末(2015年3月13日)	12,584		150		△0.9	21,971	△ 2.0	0.0	99.1	7,628
33期末(2015年4月13日)	12,481		150		0.4	22,247	1.3	0.0	98.5	7,709
34期末(2015年5月13日)	11,990		150		△2.7	21,579	△ 3.0	0.0	98.8	7,576
35期末(2015年6月15日)	11,913		150		0.6	21,617	0.2	0.0	98.8	7,197
36期末(2015年7月13日)	11,725		150		△0.3	21,474	△ 0.7	0.0	98.9	7,079
37期末(2015年8月13日)	11,786		150		1.8	22,111	3.0	0.0	99.0	7,050
38期末(2015年9月14日)	10,794		150		△7.1	20,106	△ 9.1	0.0	98.1	6,183
39期末(2015年10月13日)	11,169		150		4.9	21,528	7.1	0.0	98.9	6,413
40期末(2015年11月13日)	11,082		150		0.6	21,467	△ 0.3	0.0	98.9	6,457
41期末(2015年12月14日)	10,837		150		△0.9	21,225	△ 1.1	0.0	98.7	6,430
42期末(2016年1月13日)	10,412		150		△2.5	20,558	△ 3.1	0.0	98.7	6,212
43期末(2016年2月15日)	9,617		150		△6.2	18,900	△ 8.1	0.0	99.0	5,647
44期末(2016年3月14日)	10,215		150		7.8	21,178	12.1	0.0	98.9	5,908
45期末(2016年4月13日)	9,885		150		△1.8	21,076	△ 0.5	0.0	98.8	5,641
46期末(2016年5月13日)	9,815		150		0.8	21,420	1.6	0.0	99.4	5,509
47期末(2016年6月13日)	9,568		150		△1.0	21,051	△ 1.7	0.0	98.2	5,336

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国リート指数 (円建て) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国リート指数 (円建て) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

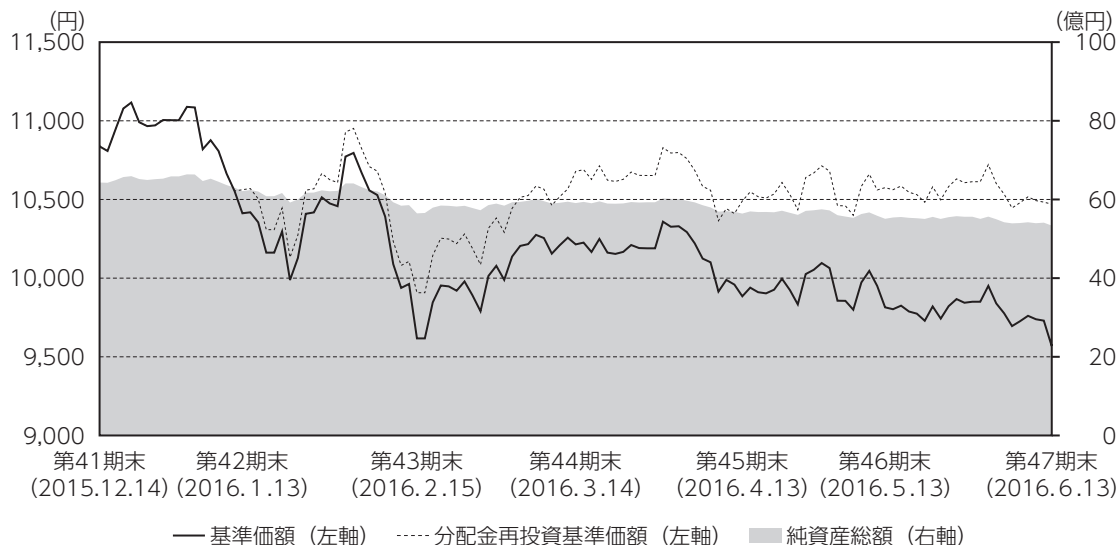
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第42期首：10,837円

第47期末：9,568円（既払分配金900円）

騰落率：△3.4%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーグローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）（以下「リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の下落が要因となり、基準価額は下落しました。リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことはプラスに寄与しましたが、為替相場において円高が進んだことがマイナス要因となり、下落しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 先進国リート指数 (円 建 (参考指数) 騰 落 率)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第42期	(期首) 2015年12月14日	円 10,837	% -	21,225	% -	% 0.0	% 98.7
	12月末	11,089	2.3	22,085	4.0	0.0	96.5
	(期末) 2016年1月13日	10,562	△2.5	20,558	△ 3.1	0.0	98.7
第43期	(期首) 2016年1月13日	10,412	-	20,558	-	0.0	98.7
	1月末	10,457	0.4	20,440	△ 0.6	0.0	99.0
	(期末) 2016年2月15日	9,767	△6.2	18,900	△ 8.1	0.0	99.0
第44期	(期首) 2016年2月15日	9,617	-	18,900	-	0.0	99.0
	2月末	10,078	4.8	20,197	6.9	0.0	97.7
	(期末) 2016年3月14日	10,365	7.8	21,178	12.1	0.0	98.9
第45期	(期首) 2016年3月14日	10,215	-	21,178	-	0.0	98.9
	3月末	10,327	1.1	21,703	2.5	0.0	98.3
	(期末) 2016年4月13日	10,035	△1.8	21,076	△ 0.5	0.0	98.8
第46期	(期首) 2016年4月13日	9,885	-	21,076	-	0.0	98.8
	4月末	10,064	1.8	21,523	2.1	0.0	99.3
	(期末) 2016年5月13日	9,965	0.8	21,420	1.6	0.0	99.4
第47期	(期首) 2016年5月13日	9,815	-	21,420	-	0.0	99.4
	5月末	9,850	0.4	21,581	0.8	0.0	98.8
	(期末) 2016年6月13日	9,718	△1.0	21,051	△ 1.7	0.0	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○先進国リート市況**

先進国リート市況は上昇しました。当作成期間の前半は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げや原油を中心とするコモディティ価格の下落、中国の軟調な経済指標などさまざまなマイナス要因が重なり下落基調で推移しましたが、各国中央銀行の低金利政策の維持や日銀のマイナス金利導入が追い風となり反発しました。その後、中国の経済指標の改善や原油価格の反発などを背景に投資家心理が好転し、さらに利上げを抑えた米国経済の底堅さが安心材料となり、上昇しました。国別の現地通貨建て騰落率を見ると、カナダ（19.4%）やオーストラリア（17.8%）、日本（11.9%）が大きく上昇しました。一方で、英国（△1.2%）やオランダ（△0.6%）が相対的に振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、ヘルスケアや産業施設のパフォーマンスが相対的に良好だった一方で、ホテル／リゾートや住宅などが低調でした。

○為替相場

当ファンドが組み入れている先進国リーートの対象通貨の為替相場は、当期間を通じて、全体としては対円で下落しました。最も組入比率の高い米ドルは対円で下落しました。第42期首から2016年1月にかけては、中国経済の減速懸念に端を発した中国株式市場の急落などを背景に市場でリスク回避の動きが強まり、米ドルの対円レートは下落しました。2月に入ると、原油価格が下げ幅を広げ世界的な景気減速懸念が強まり、円高米ドル安が進みました。その後も、F R Bの利上げペースが緩やかにとどまるとの見方が広がったことなどから、米ドルの対円レートは弱含んで推移しました。次に組入比率の高い豪ドルも対円で下落しました。2016年5月に、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利を2.0%から過去最低となる1.75%に引き下げたことなどが豪ドルの重しとなりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

リート α ・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リート α ・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○リート α ・ファンド（ノンヘッジクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは、賃料や稼働率などの改善を通して中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏では緩和的な金融政策が継続されることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や世界経済の緩やかな成長等を勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持しました。

○リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、景気敏感セクターであるオフィスはおおむねアンダーウエートを維持し、産業施設のポジションを若干増やしました。一方で、ディフェンシブ・セクターでは、商業施設やヘルスケアなどについておおむねオーバーウエートを維持しました。国別で見ると、オーストラリア、オランダ、米国をオーバーウエートで推移させましたが、英国、カナダ、日本、香港はおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。リートポートフォリオに対するオプションポジションの比率であるカバー率は第42期首は95.2%、第47期末は83.2%でした。

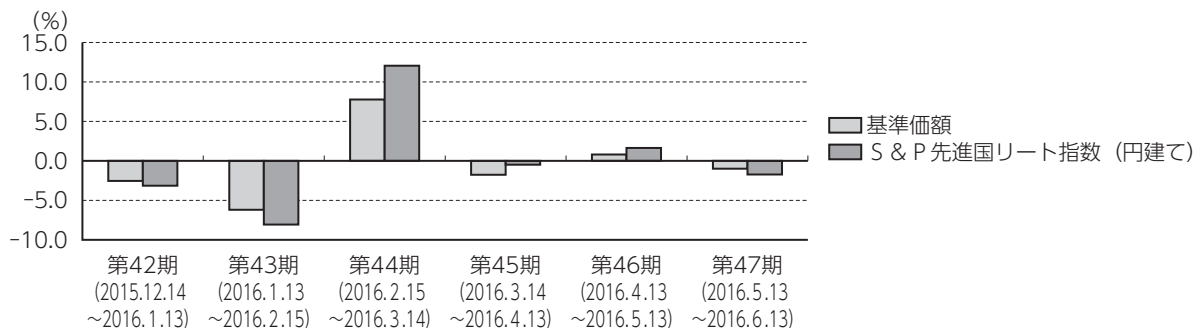
○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第42期から第47期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ150円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年12月15日 ~2016年1月13日	2016年1月14日 ~2016年2月15日	2016年2月16日 ~2016年3月14日	2016年3月15日 ~2016年4月13日	2016年4月14日 ~2016年5月13日	2016年5月14日 ~2016年6月13日
当期分配金（税込み）（円）	150	150	150	150	150	150
対基準価額比率（％）	1.42	1.54	1.45	1.49	1.51	1.54
当期の収益（円）	146	116	126	118	107	107
当期の収益以外（円）	3	33	23	31	42	42
翌期繰越分配対象額（円）	3,147	3,115	3,093	3,062	3,020	2,979

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	146.34円	116.52円	126.68円	118.18円	107.97円	107.48円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,248.07	2,261.63	2,278.51	2,285.55	2,289.84	2,310.22
(d) 分配準備積立金	903.53	887.52	838.73	808.49	772.39	711.86
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,297.95	3,265.68	3,243.93	3,212.23	3,170.21	3,129.57
(f) 分配金	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,147.95	3,115.68	3,093.93	3,062.23	3,020.21	2,979.57

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは賃料や稼働率などの改善を通して、中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏ではさらなる量的金融緩和政策が進められることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や、英国のEU（欧州連合）離脱懸念による影響などを勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	(2015.12.15～2016.6.13)		
	金 額	比 率	
信託報酬	67円	0.661%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,194円です。
（投信会社）	(22)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(44)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	68	0.665	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2015年12月15日から2016年6月13日まで）

決算期	第 42 期 ～ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	5,425.026	529,938	10,551.434	996,994

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2015年12月15日から2016年6月13日まで）

第 42 期				～	第 47 期			
買 付					売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円			千口	千円	円
GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	679.453	70,000	103		GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	10,551.434	996,994	94

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第42期～第47期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2015年12月15日から2016年6月13日まで）

区 分	第 42 期			第 47 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 55,442	百万円 210	% 0.4	百万円 2,822	百万円 -	% -
コール・ローン	1,873,894	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間中（第42期～第47期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 47 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS	57,049.199	5,240,368	98.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	99	100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年6月13日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	5,240,368	96.3
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	202,604	3.7
投資信託財産総額	5,443,073	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年1月13日)、(2016年2月15日)、(2016年3月14日)、(2016年4月13日)、(2016年5月13日)、(2016年6月13日)現在

項 目	第 42 期 末	第 43 期 末	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末
(A) 資産	6,318,212,067円	5,748,721,542円	6,023,232,374円	5,766,294,329円	5,631,998,530円	5,443,073,482円
コール・ローン等	188,160,050	159,650,595	180,303,902	190,664,639	154,560,652	202,604,962
投資信託受益証券(評価額)	6,129,951,827	5,588,970,767	5,842,828,292	5,575,529,510	5,477,337,698	5,240,368,350
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	100,190	100,180	100,180	100,180	100,180	100,170
(B) 負債	106,012,935	101,613,983	114,380,486	124,607,809	122,863,324	106,883,811
未払収益分配金	89,493,885	88,081,237	86,764,844	85,608,761	84,196,413	83,654,326
未払解約金	9,379,205	6,111,707	21,527,256	32,403,522	32,295,234	16,791,789
未払信託報酬	7,096,586	7,333,080	5,964,072	6,432,005	6,170,133	6,198,372
その他未払費用	43,259	87,959	124,314	163,521	201,544	239,324
(C) 純資産総額(A-B)	6,212,199,132	5,647,107,559	5,908,851,888	5,641,686,520	5,509,135,206	5,336,189,671
元本	5,966,259,026	5,872,082,493	5,784,322,987	5,707,250,739	5,613,094,231	5,576,955,070
次期繰越損益金	245,940,106	△ 224,974,934	124,528,901	△ 65,564,219	△ 103,959,025	△ 240,765,399
(D) 受益権総口数	5,966,259,026□	5,872,082,493□	5,784,322,987□	5,707,250,739□	5,613,094,231□	5,576,955,070□
1万口当り基準価額(C/D)	10,412円	9,617円	10,215円	9,885円	9,815円	9,568円

*第41期末における元本額は5,933,906,457円、当作成期間(第42期~第47期)中における追加設定元本額は563,063,191円、同解約元本額は920,014,578円です。

*第47期末の計算口数当りの純資産額は9,568円です。

*第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は240,765,399円です。

■ 損益の状況

第42期 自2015年12月15日 至2016年1月13日 第45期 自2016年3月15日 至2016年4月13日
 第43期 自2016年1月14日 至2016年2月15日 第46期 自2016年4月14日 至2016年5月13日
 第44期 自2016年2月16日 至2016年3月14日 第47期 自2016年5月14日 至2016年6月13日

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(A) 配当等収益	94,453,827円	75,802,996円	74,302,807円	73,924,987円	66,816,112円	66,182,292円
受取配当金	94,447,551	75,796,895	74,302,473	73,924,987	66,819,304	66,187,521
受取利息	6,276	6,101	334	-	1	5
支払利息	-	-	-	-	△ 3,193	△ 5,234
(B) 有価証券売買損益	△ 252,416,362	△ 448,779,855	359,988,042	△ 170,282,208	△ 15,905,772	△ 113,415,466
売買益	1,126,228	1,878,180	367,281,042	2,496,236	563,317	1,659,271
売買損	△ 253,542,590	△ 450,658,035	△ 7,293,000	△ 172,778,444	△ 16,469,089	△ 115,074,737
(C) 信託報酬等	△ 7,139,845	△ 7,377,780	△ 6,000,427	△ 6,471,212	△ 6,208,156	△ 6,236,152
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	△ 165,102,380	△ 380,354,639	428,290,422	△ 102,828,433	44,702,184	△ 53,469,326
(E) 前期繰越損益	△ 549,286,469	△ 780,326,100	△ 1,208,043,783	△ 847,711,810	△ 1,013,432,531	△ 1,019,634,993
(F) 追加信託差損益金	1,049,822,840	1,023,787,042	991,047,106	970,584,785	948,967,735	915,993,246
(配当等相当額)	(1,341,260,065)	(1,328,051,609)	(1,317,967,220)	(1,304,423,878)	(1,285,310,848)	(1,288,402,774)
(売買損益相当額)	(△ 291,437,225)	(△ 304,264,567)	(△ 326,920,114)	(△ 333,839,093)	(△ 336,343,113)	(△ 372,409,528)
(G) 合計(D+E+F)	335,433,991	△ 136,893,697	211,293,745	20,044,542	△ 19,762,612	△ 157,111,073
(H) 収益分配金	△ 89,493,885	△ 88,081,237	△ 86,764,844	△ 85,608,761	△ 84,196,413	△ 83,654,326
次期繰越損益(G+H)	245,940,106	△ 224,974,934	124,528,901	△ 65,564,219	△ 103,959,025	△ 240,765,399
追加信託差損益金	1,049,822,840	1,023,787,042	991,047,106	970,584,785	948,967,735	915,993,246
(配当等相当額)	(1,341,260,065)	(1,328,051,609)	(1,317,967,220)	(1,304,423,878)	(1,285,310,848)	(1,288,402,774)
(売買損益相当額)	(△ 291,437,225)	(△ 304,264,567)	(△ 326,920,114)	(△ 333,839,093)	(△ 336,343,113)	(△ 372,409,528)
分配準備積立金	536,892,861	501,503,960	471,662,787	443,271,115	409,964,408	373,293,840
繰越損益金	△ 1,340,775,595	△ 1,750,265,936	△ 1,338,180,992	△ 1,479,420,119	△ 1,462,891,168	△ 1,530,052,485

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(a) 経費控除後の配当等収益	87,313,982円	68,425,216円	73,276,134円	67,453,775円	60,607,955円	59,946,140円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,341,260,065	1,328,051,609	1,317,967,220	1,304,423,878	1,285,310,848	1,288,402,774
(d) 分配準備積立金	539,072,764	521,159,981	485,151,497	461,426,101	433,552,866	397,002,026
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,967,646,811	1,917,636,806	1,876,394,851	1,833,303,754	1,779,471,669	1,745,350,940
(f) 分配金	89,493,885	88,081,237	86,764,844	85,608,761	84,196,413	83,654,326
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,878,152,926	1,829,555,569	1,789,630,007	1,747,694,993	1,695,275,256	1,661,696,614
(h) 受益権総口数	5,966,259,026□	5,872,082,493□	5,784,322,987□	5,707,250,739□	5,613,094,231□	5,576,955,070□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
1 万口当り分配金	150円	150円	150円	150円	150円	150円
（単 価）	(10,412円)	(9,617円)	(10,215円)	(9,885円)	(9,815円)	(9,568円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド
円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年6月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2015年2月28日

	(円)
資産	
担保付スワップ投資、公正価値（取得価格： 51,263,406,207円）	52,159,029,704
デリバティブ金融商品、公正価値	454,985,549
未収利息	6,774,108
資産計	<u><u>52,620,789,361</u></u>
負債	
デリバティブ金融商品、公正価値	725,038,450
未払報酬代理店報酬	6,774,108
負債計	<u><u>731,812,558</u></u>
償還可能受益証券保有者帰属純資産	<u><u>51,888,976,803</u></u>
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	7,725,853,013
円ヘッジクラス受益証券	19,275,629,992
通貨セレクトクラス受益証券	<u>24,887,493,798</u>
発行済受益証券：	
ノンヘッジクラス受益証券	65,603,480
円ヘッジクラス受益証券	245,703,487
通貨セレクトクラス受益証券	<u>301,684,573</u>
受益証券一口当たり純資産価値：	
ノンヘッジクラス受益証券	117.77
円ヘッジクラス受益証券	78.45
通貨セレクトクラス受益証券	<u>82.50</u>

包括利益計算書

2015年2月28日に終了した年度

(円)

手数料収入	14,417,877,313
担保付スワップ投資純利益／(損失)	(2,073,708,592)
デリバティブ純損失 為替純利益／(損失)	(5,628,144,909)
投資純利益	6,771,656,064
営業経費	67,898,460
営業経費計	67,898,460
償還可能受益証券保有者帰属純資産変動	6,703,757,604

デリバティブ金融商品 (為替先渡契約)

満期日	契約数	購入通貨	通貨購入額	売却通貨	通貨売却額	公正価値 (円)
2015年3月18日	2	AUD	37,977,662.13	USD	29,335,217.16	43,257,954
2015年3月18日	2	BRL	111,038,122.45	USD	40,200,112.40	(187,116,292)
2015年3月18日	2	INR	2,514,130,748.85	USD	40,417,410.31	12,879,718
2015年3月18日	2	NZD	43,588,806.23	USD	31,942,792.02	118,086,585
2015年3月18日	2	TRY	98,574,488.29	USD	39,982,814.50	(113,290,447)
2015年3月18日	1	USD	566,953.26	BRL	1,590,239.39	1,631,016
2015年3月18日	1	USD	563,888.65	TRY	1,405,740.98	863,338
2015年3月18日	1	USD	570,017.88	INR	35,558,207.71	(375,699)
2015年3月18日	1	USD	499,531.80	ZAR	5,772,914.56	659,523
2015年3月18日	1	USD	450,498.00	NZD	613,720.76	(1,572,930)
2015年3月18日	1	USD	413,722.65	AUD	531,397.54	(216,444)
2015年3月18日	2	ZAR	408,416,374.19	USD	35,419,558.49	(56,123,096)
2015年3月25日	1	USD	16,220,604.00	JPY	1,929,533,903.00	8,890,317
2015年3月25日	1	USD	7,276,596.87	SGD	9,909,279.59	(570,148)
2015年3月25日	1	USD	3,409,060.98	HKD	26,463,346.64	(374,163)
2015年3月25日	1	USD	648,584.68	CAD	816,885.06	(645,036)
2015年3月25日	1	USD	16,291,781.65	AUD	20,928,883.70	(7,934,166)
2015年3月25日	1	USD	13,654,104.86	GBP	8,831,053.45	1,148,572
2015年3月25日	1	USD	10,063,226.22	EUR	8,867,659.23	13,580,987
2015年3月25日	1	JPY	1,525,448,926.00	AUD	16,494,139.29	(15,187,735)
2015年3月25日	1	JPY	60,728,950.00	CAD	643,384.67	(825,231)
2015年3月25日	1	JPY	942,250,391.00	EUR	6,983,061.99	5,932,076
2015年3月25日	1	JPY	1,278,475,248.00	GBP	6,964,950.93	(7,536,032)
2015年3月25日	1	JPY	681,329,834.00	SGD	7,814,006.95	(4,831,888)
2015年3月25日	1	JPY	319,200,718.00	HKD	20,835,284.00	(1,847,245)
2015年3月25日	1	JPY	13,038,274,017.00	USD	109,760,591.04	(78,536,435)
純評価損合計 (公正価値)						(270,052,901)

<補足情報>

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））が投資対象としての「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第47期の決算日（2016年6月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を28～29ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年12月15日から2016年6月13日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
591	国庫短期証券 2016/5/30	18,690,605	575	国庫短期証券 2016/6/10	1,500,603
596	国庫短期証券 2016/6/20	11,560,241	342	2年国債 0.1% 2016/7/15	720,475
588	国庫短期証券 2016/5/16	9,500,428	100	5年国債 0.3% 2016/9/20	601,368
586	国庫短期証券 2016/5/12	4,000,096			
98	5年国債 0.3% 2016/6/20	3,990,332			
97	5年国債 0.4% 2016/6/20	2,860,369			
578	国庫短期証券 2016/3/28	2,000,106			
567	国庫短期証券 2016/2/8	1,299,999			
594	国庫短期証券 2016/6/13	710,011			
564	国庫短期証券 2016/1/25	599,999			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年6月13日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（49,407,244千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2016年6月13日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 18,460,000	千円 18,460,648	% 37.2	% —	% —	% —	% —	% 37.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年6月13日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	97 5年国債		%	千円	千円	
			0.4000	2,860,000	2,860,200	2016/06/20
	98 5年国債		0.3000	3,990,000	3,990,239	2016/06/20
	596 国庫短期証券		—	11,560,000	11,560,206	2016/06/20
	597 国庫短期証券		—	50,000	50,001	2016/06/27
合 計	銘 柄 数	4銘柄				
	金 額			18,460,000	18,460,648	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2015年12月9日）

（計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

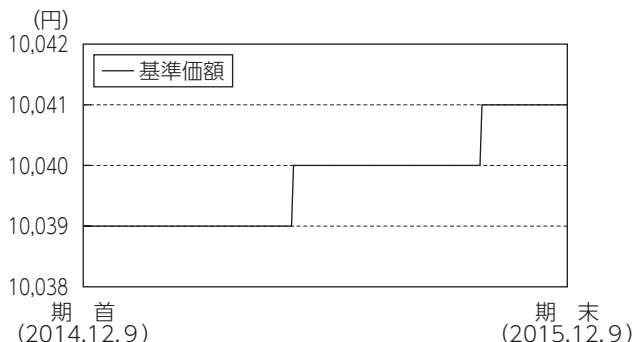
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	%	
(期首)2014年12月9日	10,039	—	58.5
12月末	10,039	0.0	97.2
2015年1月末	10,039	0.0	71.6
2月末	10,039	0.0	62.6
3月末	10,039	0.0	56.0
4月末	10,039	0.0	58.0
5月末	10,040	0.0	59.9
6月末	10,040	0.0	56.2
7月末	10,040	0.0	57.4
8月末	10,040	0.0	55.6
9月末	10,040	0.0	59.3
10月末	10,041	0.0	71.0
11月末	10,041	0.0	52.1
(期末)2015年12月9日	10,041	0.0	51.6

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,039円 期末：10,041円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続ぎ、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
		千円
国債証券	75,714,577	—
		(43,770,000)

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
568 国庫短期証券 2016/2/15	7,000,594		
574 国庫短期証券 2016/3/14	5,000,640		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,500,619		
540 国庫短期証券 2015/9/24	3,799,996		
557 国庫短期証券 2015/12/14	2,999,999		
567 国庫短期証券 2016/2/8	2,999,997		
520 国庫短期証券 2015/6/22	2,999,976		
555 国庫短期証券 2015/12/7	2,500,000		
553 国庫短期証券 2015/11/24	2,060,000		
536 国庫短期証券 2015/9/7	2,000,000		

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちB B格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	32,420,000	32,424,550	51.6	—	—	—	51.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	年 利 率		額 面 金 額		評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	千円		
国債証券	557 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,999	2015/12/14		
	559 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/12/21		
	560 国庫短期証券	—	1,600,000	1,599,999	2015/12/28		
	563 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/01/18		
	566 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,999	2016/02/01		
	567 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/08		
	568 国庫短期証券	—	7,000,000	7,000,594	2016/02/15		
	573 国庫短期証券	—	4,500,000	4,500,612	2016/03/07		
	556 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,123	2016/03/10		
	574 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,640	2016/03/14		
	575 国庫短期証券	—	1,500,000	1,500,448	2016/06/10		
	342 2年国債	0.1000	720,000	720,576	2016/07/15		
	100 5年国債	0.3000	600,000	601,560	2016/09/20		
合計	銘柄数 金額	13銘柄	32,420,000	32,424,550			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
公社債	千円 32,424,550	% 40.2	
コール・ローン等、その他	48,181,367	59.8	
投資信託財産総額	80,605,918	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	80,605,918,433円	
コール・ローン等	48,180,683,441	
公社債(評価額)	32,424,550,578	
未収利息	481,238	
前払費用	203,176	
(B) 負債	17,814,126,500	
未払金	17,502,126,500	
未払解約金	312,000,000	
(C) 純資産総額(A-B)	62,791,791,933	
元本	62,535,131,959	
次期繰越損益金	256,659,974	
(D) 受益権総口数	62,535,131,959口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,041円	

* 期首における元本額は817,136,908円、当期中における追加設定元本額は80,209,414,361円、同解約元本額は18,491,419,310円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付債権ファンド(為替ヘッジあり) 112,594,660円、ダイワ米国担保付債権ファンド(為替ヘッジなし) 73,734,556円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンク

ローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド-ロボテック-3,983,667円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジリアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Aコース2,996,693円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Bコース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Aコース2,999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Aコース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Bコース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Cコース179,498円、世界優先証券ファンド(為替ヘッジあり/限定追加型) 998円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 3,988,832円、US短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 4,984円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス14,063,387,856円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス2,983,307,364円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ(2倍) 指数2,081,906,471円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(一2倍) 指数796,936,766円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス37,546,378,604円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(一1倍) 指数2,340,731,717円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス687,286,710円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス278,916,205円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス727,153,136円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型) 為替ヘッジあり7,009,001円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型) 為替ヘッジなし904,221円、ダイワ・プルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ4,980,676円、ダイワ・プルベア・セレクト ドル高安ポートフォリオ258,995,899円、ダイワ・プルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ69,726,080円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権首(つちおと) -11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ197,260,107円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ90,940,158円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・リアル・コース(毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 4,981,569円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 20,016,725円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 4,000,959円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズー 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース11,961,723円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,041円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,849,980円
受取利息	4,849,980
(B) 有価証券売買損益	△ 176,333
売買益	15,667
売買損	△ 192,000
(C) 当期損益金(A + B)	4,673,647
(D) 前期繰越損益金	3,178,379
(E) 解約差損益金	△ 74,181,691
(F) 追加信託差損益金	322,989,639
(G) 合計(C + D + E + F)	256,659,974
次期繰越損益金(G)	256,659,974

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。